

郡上農林事務所の普及活動状況 令和7年3月31日現在

今月の重点活動

■夏秋トマト 適正な施肥管理に向けた研修会を開催

郡上園芸特産振興会夏秋トマト部会が土づくりを含めた施肥管理の研修会を3月6日に開催した。講師に農業技術センター研究員を招き、郡上管内のトマトほ場での土壌分析結果をもとに、土づくりから、地力窒素を考慮した適正な施肥方法について分かりやすく説明を受けた。土づくりや、施肥管理については、生産者や関係機関の関心も高く、積極的に質問や意見が出された。

農業普及課では本研修会をきっかけに今後の土づくりを含めた過不足のない施肥管理に向けて支援していく。



【研修会の様子】

郡上の農業・農村を支える人材育成

■フランネルフラワー 下呂市、東白川町の生産者を視察

明宝の花き生産者が家族へ経営継承を考えており、自身のほ場以外の栽培環境を見て知見を深めてほしいという思いから、3月13日、その生産者と家族がフランネルフラワーを栽培する下呂市、東白川町の2名の生産者のほ場を視察した。

視察先では、栽培管理や出荷調整について質問し、移動中も全農担当者及び普及課職員に出荷規格や管理について質問するなど、積極的に学ぶ姿勢が見られた。今回の視察は、継承者の知見を深めることができたほか、管外生産者との関係構築にもつながる良い機会となった。

農業普及課では、関係機関と連携し、担い手の技術及び知識の習得を支援する。



【ほ場視察の様子】

安心で身近な「郡上の食」づくり

■直売所 郡上市青空市場連合が総会を開催

郡上市青空市場連合は、今年度の実績と次年度の計画を協議するため、3月10日に総会を開催した。朝市・直売所間で現状と今後の課題についても情報交換が行われ、特に商品の確保先や農家所得の向上に関する意見が多かった。

農業普及課では、今後も市とともに、地産地消の推進と安全・安心・新鮮な農産物の安定生産を継続するために、朝市連合の活動を支援する。



【総会の様子】

郡上農畜水産物のブランド展開

■水稲 郡上産米ブランド化研究会の総会を開催

郡上産米ブランド化研究会の令和6年度総会が3月12日、JAめぐみの大和支店にて開催された。

この研究会は、平成28年に発足し、先進地視察や各種研修会等を開催し、会員相互の技術向上や郡上産米のブランド化に取り組んでいる。総会では、令和7年度に向けた郡上おいしい米コンテストへの参加や全国規模のコンクールへの出品助成などの事業計画を決定、また役員改選が行われた。

農業普及課では、郡上産米ブランド化研究会の活動を、今後も支援しながら、米の食味向上・品質向上に取り組んでいく。



【総会の様子】

■夏だいこん 令和7年度品種比較現地試験の計画作成

標高900mを超え、夏期冷涼な郡上市高鷲町は、夏だいこん産地として市場評価が高い。しかし近年は、夏期の異常高温や乾燥、一方でゲリラ豪雨など、夏だいこん生産が容易ではなくなっている。

だいこんの品質や収量は、品種特性が大きく影響するため、出荷成績向上を目指す上で、適品種選定と作付けが必須となる。このような背景から、農業普及課では「ひるがの高原だいこん生産出荷組合」と連携し、生産者圃場において、品種比較現地試験に取り組んでいる。令和6年度は年間100点ほどを収穫調査し、各品種に対する評価を生産者らと実施している。3月に、それら調査結果を種苗メーカーに提供しながら、次年度の供試品種および作型等試験計画を作成した。

今後も異常気象をはじめ、栽培を取り巻く厳しい環境が予想される。農業普及課では、生産者組織と連携しながら、継続した技術支援に組んでいきたい。